

86

“もっと”知って欲しい、“みなみ”の想い

もっと
みなみおおけか

新年のご挨拶

理事長・院長・看護部長より

腹壁瘢痕ヘルニアって何？

主食の栄養

薬剤部の無菌室をご紹介

AIが拓く未来の医療

職員リレーコラム

登録医紹介

地域医療



理事長より 新年のご挨拶



南大阪病院 理事長
柿本 祥太郎

新年明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新年をお迎えになられましたことを心からお慶び申し上げます。

さて昨年は医療界にとりまして大変厳しい年となりました。

2020年からのコロナ感染症のパンデミックに際しては、各医療機関がその治療に全力であたってきましたが、終息に向かうとともに国からの補助金がなくなり、また診療動向の変化による患者さんの減少傾向によって多くの病院が赤字に陥っています。特に当院のような多くの救急患者さんを受け入れ、高度な手術や治療を行う急性期病院では、その傾向が顕著に表れています。

診療報酬は公定価格におさえられている反面、新たな抗癌剤などの薬剤費、診療材料や医療機器の価格は高騰しています。また人件費や物価、水光熱費の上昇などの影響も大きく、このままでは日本の医療が崩壊する恐れすらあります。医療の進歩や高齢化に

よって日本の医療費は増大の一途であり世界に誇るわが国の国民皆保険制度を維持できるかどうか、危ぶまれる状況でもあります。

そのような中、当院は昨年4月に地域医療支援病院の認定を受けることができました。今後は地域の診療所の先生方と連携し、紹介患者さんを中心に急性期医療を提供することになります。そのため地域の皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、地域におけるかかりつけ医と入院医療を提供する病院との役割分担という方向性をご理解いただきたいと思います。

また1昨年から導入したロボット支援手術も順調に増加しており、当院は今後も急性期医療を中心に回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟の運営をとおして地域の皆様の健康を守る役割を果たしていく所存です。

ことしも南大阪病院をよろしくお願い申し上げます。



院長より 新年のご挨拶



南大阪病院 院長
福田 隆

新年あけましておめでとうございます。皆さまには健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

当院は今年、創立75周年という節目を迎えます。長年にわたり大阪南部の地域医療を支えてきた歴史を誇りに思うとともに、これまで築いてきた地域の皆さまとの信頼関係をさらに深め、地域に根差した医療の提供を一層推進してまいります。

昨年、当院は「地域医療支援病院」として承認をいただきました。これは、かかりつけ医の先生方との連携を強化し、紹介・逆紹介の円滑化と救急医療・入院治療の提供、さらに地域住民・医療者への教育・研修などを通じ、地域医療全体を支える責務を担うことを意味しています。

また新たに開設したロボット手術センターでは、安全で精度の高い手術を実現し、患者さんにとってより負担の少ない医療を提供しています。さらにAI導入など医療 DXにも取り

組み、診療・検査・事務業務の効率化を進め、より安心で質の高い医療体制づくりを進めています。

超高齢化が急速に進む我が国においては、医療・介護・生活支援の連携がますます重要なとなっています。当院は急性期医療と共に、回復期リハビリ病棟・地域包括ケア病棟において回復期医療も提供しており、高齢の方々やそのご家族が安心して暮らすことのできる地域づくりに貢献してまいります。

本年も職員一同、地域の皆さまの健康と安心を第一に考え、先端医療の提供と地域医療の充実を両立させ、信頼される病院を目指してまいります。皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



看護部長より 新年のご挨拶



南大阪病院 看護部長
渡邊 美津江

新年明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、心ならず病床にて新年を迎えた皆様には一日も早いご快復をお祈り申し上げます。

近年日本各地で多くの災害が発生しています。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますと共に一日も早い復興をお祈り致します。

さて、昨年は日本歴史上初めての女性首相が誕生しました。ジェンダー平等がうたわれて長い年月が経ちましたが、日本にいる多くの女性にとっては、力強く象徴的な出来事となりました。

当院は2025年3月に地域医療支援病院の認可を受けました。地域医療支援病院として、病院や地域の医療機能の充実を目指して情報共有できる環境を整え、看護職の資質向上に努めています。現在は、専門看護師1名、認定看護師8名が活動しており、地域の医療機関の皆様方に情報発信できるよう、研修会等を多数

開催しておりますので、是非ご参加下さい。

看護部は、約360名の看護要員で、笑顔で!、元気よく!、ポジティブに!、プライドを持って!、自己実現を目指そう!をモットーに日々の看護に携わっています。

病院の理念である「地域からよろこばれ信頼される病院」をめざし、職員が皆様から頼られる存在になれるよう努力します。まだまだ及ばない点も多々あると思いますが、地域の皆様に納得いただける看護を提供できるよう、質の向上と、人間性豊かな看護師の育成を目指します。

最後に、新型コロナウイルス感染症の死者数は季節性インフルエンザより格段に多いとの発表があります。病院内では引き続き感染対策を実施しています。面会制限、マスク着用等にもご理解、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

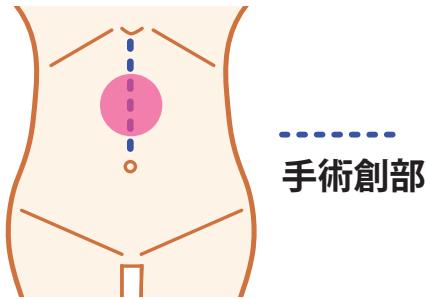


腹壁瘢痕ヘルニアって何？



南大阪病院
外科統括部長
副院長
竹村 雅至

お腹の痛みや違和感があり、その部位に膨らみがある場合には腹壁ヘルニアが疑われます。この腹壁ヘルニアのうち最も多いのは、鼠径部が膨らんでくる鼠径ヘルニアです。

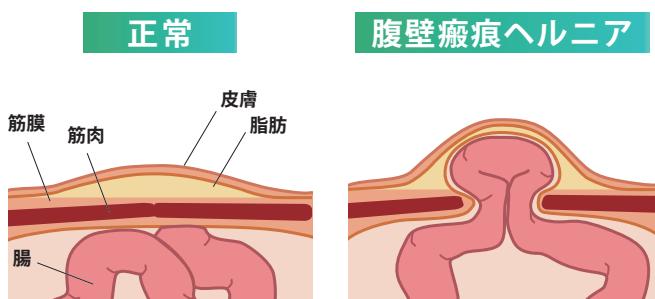


主な腹壁瘢痕ヘルニアの発生部位

以前に手術を受けられた方が、
手術の傷の部分が膨らんでくる状態を

腹壁瘢痕ヘルニア と呼んでいます。

腹壁瘢痕ヘルニアは、以前受けた手術の傷の部分が弱くなり、その部位に一致してお腹の中から腸や脂肪が脱出してくる状態です。最近では腹腔鏡手術の普及により傷が小さくなり、腹壁瘢痕ヘルニアになる可能性は少なくなっていますが、小さな傷でもやはり生じることがあります。



お腹の断面図

症状

主な症状としては、傷の部分の膨らみですが、大きくなると美容上問題になったり、痛みを伴うこともあります。さらに最も問題になるのは、脱出した腸が捻れたり戻らなくなる、嵌頓と呼ばれる状態にもなりえることです。嵌頓を起こすと緊急手術になる場合があります。



治療

腹壁瘢痕ヘルニアに対する治療は外科的な修復だけです。全ての方に手術の適応は無いですが、次第に大きくなってきたり、痛みを伴う方、美容上の問題のある方に手術の適応があります。手術の方法には腹腔鏡を用いる術式と開腹で行う術式があり、メッシュという人工のシートを用い筋肉を補強することが一般的です。当院では腹腔鏡と開腹手術の両術式に対応しています。以前の手術の傷の部分に膨らみがあり、痛みなどを伴う方は当院外科を受診していただければ腹壁瘢痕ヘルニアの治療について説明させていただきます。

主食の栄養

米不足が大きな話題となり、

ご飯を抜いてしまう方やパンや麺が増えた方はいませんか?

主食は炭水化物を多く含み、体を動かすエネルギー源となるため、

欠かせない食べ物です。今回は主食の栄養について紹介します。

炭水化物が不足すると?



疲労、集中力の低下

炭水化物が分解されて生じたブドウ糖は脳の唯一のエネルギー源です。疲労感や集中力の低下を招き、勉強や仕事が捗らないなどの弊害が起こりやすくなります。



筋肉量の減少

エネルギー不足では、筋肉を分解してエネルギー源を作り出します。筋肉量が減ると、代謝が低下し、痩せにくく、太りやすい身体になります。

主食の栄養

米

約8割が炭水化物で、脂質が少なく、胃腸に優しい主食です。米粒をよく噛むことで脳の活性化も期待されます。

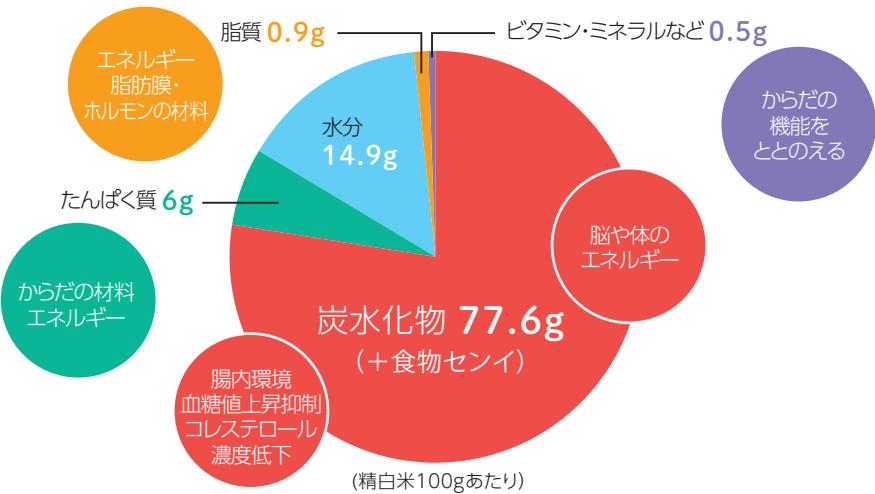
その他の主食

パン

カルシウムや鉄、ビタミン類が豊富。

麺類

ご飯よりも食物センイが多い。



特徴を知って賢く食べよう!



パンや麺類は**糖質中心**になりがちです。
たんぱく源や野菜を取り入れましょう。

卵や野菜が入っているものを選択

牛乳やサラダを1品プラス

菓子パンはお菓子と同じ
総菜パンは糖質×糖質の組み合わせに注意



パンや麺類は**塩分の過剰摂取**に注意。

カリウムを多く含む野菜や果物と一緒に摂取すると塩分排泄効果が期待

麺類は汁を残し塩分は半分に

加工品、練り製品、チーズなど塩分の多い食材は量と頻度に注意

主食、主菜、副菜でバランスを整え、新しい年を元気に過ごしましょう!



薬剤部の無菌室をご紹介いたします。

当院では、無菌室で患者様に投与される高カロリー輸液や
抗がん剤の輸液等の調製を行っています。

注射薬は直接体の中に入るため無菌的に調製する必要があります。
そのため、無菌室に設置したクリーンベンチと安全キャビネット内で
汚染のない安全な輸液を調製することに努めています。

クリーンベンチ



クリーンベンチは、外からの異物混入を防ぐために気圧がやや高くなっています。そのため、空気がクリーンベンチ内部から外に流れるようになっています。そのため、作業台は無菌的に保たれます。また毎日の清掃に加え、毎週土曜日には無菌室全体を細かく清掃しております。クリーンベンチでは、主に高カロリー輸液を調製しています。高カロリー輸液は食事がとれない患者様に対して中心静脈（体の中心部にある太い静脈）より投与されます。高カロリー輸液が処方された際に、薬剤師は投与ルートや投与速度、患者様の採血結果等から適切な投与内容であるかどうかを確認しています。こうして当院では入院患者様の高カロリー輸液を対象とし、安全な輸液療法の実施に携わっています。

安全キャビネット



安全キャビネットでは、外来・入院において化学療法を行っている患者様に投与する抗がん剤の輸液を調製しています。抗がん剤は身体の細胞に対して影響を及ぼすものが多いため、患者様への副作用の配慮と同時に薬剤を扱う医療者への配慮も重要となります。安全キャビネットはクリーンベンチとは反対に気圧が低くなるように設定されています。安全キャビネットの内の空気はフィルターを通して清浄化された後屋外に排出されるため、調製時の被ばくを防ぐことができます。こうして、無菌面、安全面に配慮して抗がん剤が調製されます。また抗がん剤の処方が入ると薬剤師が投与量や投与速度、投与間隔等の処方チェックを行い、治療が安全かつ適正に行えるようしています。

今後も患者様の安全な薬物治療に貢献していきたいと思います。

AIが拓く未来の医療

南大阪病院 医療情報部 中村洋平



近年、目覚ましい進化を遂げるAI(人工知能)技術は、
医療分野にとっても大きな変革の可能性を秘めています。

当院でもこのAI技術の導入を積極的に模索しており、
特に診療情報のサマリーや診療情報提供書などの文章作成における
AIの活用に注目しています。

AI導入で当院が目指すものは、医師や看護師などの医療従事者の負担を軽減することです。最近の医療現場では、電子カルテの普及により患者さんの診療記録、検査結果、検査画像など、日々膨大なデータが蓄積されています。これらの情報をもとにして、正確に要点をまとめたサマリーや診療情報提供書を作成することは、医師を含むコメディカルの連携や患者さんの確実な治療継続に不可欠です。しかし、これらの文書作成は時間と労力を要し、現在では医療従事者の大きな負担となっています。

この様な場面でAIが力を発揮します。AIは、電子カルテのデータを高速に解析することで、患者さんの病状や治療経過を要約し、診断や治療方針を整理したサマリーを短時間で生成することができます。また、診療情報提供書の作成でも必要な情報を

自動的に抽出し標準化された形式で作成します。そして医師が最終確認をすることで、作成に関わる時間を大幅に短縮し、医師は診療に専念することができます。

当院では、AIの導入を検討する際、データの正確性とプライバシー保護を最優先に考えています。当院は、AIが医療従事者の代替となるのではなく、あくまでも「医療のパートナー」として、より安全で質の高い医療を提供するための強力なツールになると確信しています。AIによる文書作成の効率化は、地域医療連携の迅速化と強化につながります。このAI導入の模索は、未来の医療を見据えた重要な一步となり得ます。当院ではAIの力を借りて、より安全で質の高い医療を提供できるよう挑戦を続けてまいります。

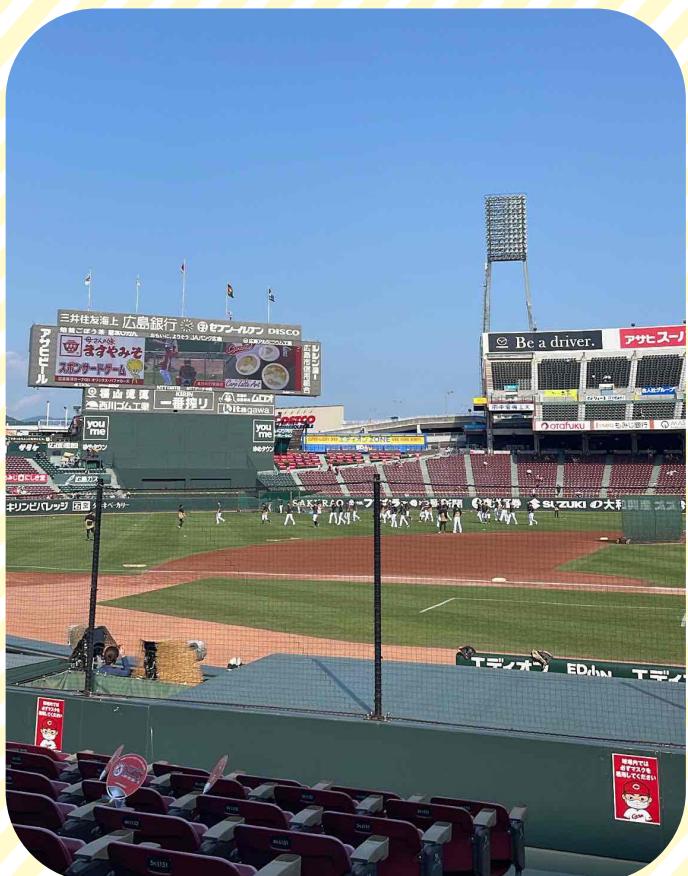


職員の“あんなコトこんなコト”をリレーで綴る

職員リレーコラム

初めまして。

私は10階病棟に所属している看護師の中山と申します。



旅行は友人と一緒に行ったり、気軽に走れる距離であれば一人で出かけたりもします。最近であれば一人で石川県に行き、海沿いをドライブしたり、新鮮な海鮮を味わったりしました。

私はにとって休日は、日々の仕事の緊張を少し緩めて、自分の好きな時間をゆっくり味わう大切なリフレッシュの機会です。そんな休日に欠かせないのが、旅行に出かけることと、広島東洋カープの試合を観に行くことです。

旅行は友人と一緒に行ったり、気軽に走れる距離であれば一人で出かけたりもします。最近であれば一人で石川県に行き、海沿いをドライブしたり、新鮮な海鮮を味わったりしました。

そして、もう一つの趣味が、広島東洋カープの試合観戦に行くことです。小さいころから

こうした非日常の時間があることで、気持ちがすっと軽くなり、仕事に励むことができます。

市場で食べる海鮮丼や、地元のお店でいただく旬の魚は、同じ料理でもどこか特別に感じられます。普段の生活では味わえない、土地の雰囲気や人の温かさに触れるところも、旅の楽しさだと思っています。

両親が応援していた影響で私も、カープを応援するようになりました。球場に行くと応援団の一体感や、熱気によって、自然と気持ちが高まります。好きな選手が打席に立つとい身を乗り出してしまう、好プレーが出ると周りの人と同じように思わず拍手してしまうこともあります。試合に「喜一憂」しながら、球場全体で同じ時間を共有できるのは、ライブ観戦ならではの楽しさです。たとえ結果が悔しい試合でも、帰るところには「また応援しよう」と思えるところが、カープの魅力だと思います。

どちらも私の休日を豊かにしてくれる大切な趣味です。





登録医紹介

おおくぼ消化器・内視鏡クリニック



院長
大久保知之



内視鏡担当医
大久保佑樹

- 消化器内科
- 肛門外科
- 内科
- 循環器内科

当院では、内視鏡専門医による質の高い内視鏡検査および肛門疾患に対する専門的な診療・治療をご提供しております。

“苦しいから内視鏡検査は受けたくない”という患者さんをなくすため、当院では特に”苦痛の少ない”内視鏡検査に力を入れております。ご不安な方でも安心してご来院ください。

また、当院では内痔核の硬化療法であるジオン注も取り扱っております。血便や痔核脱出でお悩みの方もお気軽にご相談下さい。

	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	●	▲	●	●	●	●	★
12:30～16:00	●	●	●	●	●	●	★
16:00～18:00	●	●	●	●	●	/	/

●…診察・検査

▲…外来診察(9:00～16:00)+
女性医師による内視鏡検査(9:00～12:00)

★…第2・4日曜

(内視鏡検査+初診外来、循環器内科外来)

※日曜日の初診外来受付開始しました！



ホームページはこちらから



おおくぼ消化器・内視鏡クリニック

〒559-0017
大阪府大阪市住之江区中加賀屋3-2-3
プライム加賀屋2階

- 大阪メトロ四つ橋線「北加賀屋」駅から徒歩10分
- 南海電鉄「住吉大社」駅から徒歩14分
- 大阪シティバス48号「中加賀屋二丁目」バス停目の前

ヤマモトヨリソイクリニック

やまもとよりそいクリニック



院長
山本あん奈



副院長・事務長
山本勝司

- 内科

- 糖尿病内科

- 家庭医療

当院は、家庭医が診療を行うクリニック。

気分が悪い、身体が痛い、だけど、何科に行ったら良いのかわからない…そんな時は、どうぞ心を楽にして当院へお越しください。年齢・性別を問わず、日常よく見られる症状や病気に適切に対応し、より専門的な検査や治療が必要な場合は、どんな検査や治療が考えられるかご説明し、適切な専門科をご紹介いたします。

糖尿病の専門家もあります。

その知識と経験を活かし、生活習慣病を全面的にサポート。健康的な体づくりを一緒に行っていきましょう。私たちは「あなた」や「あなたのご家族」「あなたの地域」そのものが、専門分野と考えています。身体だけを診察しても、病の原因が見つからないこともあります。そんな時は、あなたやあなたのご家族を取りまく状況・環境全てを踏まえた上で「あなた」にとって最良となる診療を目指します。すべてのひとが安心して生きられる地域をつくるために、私たちのまわりのすべてのひとが幸せになるように、日々努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前診 9:00～12:30 ※受付12:00まで	●	●	▲	●	●	●	/
午後診 14:00～19:00 ※受付18:30まで	●	●	/	●	●	/	/
訪問診療 14:00～15:00	★	★	/	★	★	/	/

●…診察・検査

▲…第1・第3水曜日のみ

★…予約のみ



ホームページはこちらから



やまもとよりそいクリニック

〒557-0045

大阪府大阪市西成区玉出西1-8-8

- 大阪メトロ四つ橋線「玉出」駅①番出口より徒歩5分
- 南海本線「岸里玉出」駅玉出口より徒歩6分

2025年10月度 公開医療講座 開催報告

今回の公開医療講座は2つのパートに分かれており、診療支援部(リハビリテーション科)部長の山川智之から「年をとったから生活の動作はできなくなるの!?」という演題と、栄養科主任の中西由佳から「栄養のお話」～バランスの良い食事ってなに～というタイトルで講演がありました。

リハビリテーションのパートでは加齢による衰えだと思われていたことが、体の使い方によって生活動作が可能になることを参加者の皆様と一緒に実演し(正しい座り方、手首の使い方等)、原因や対処法も併せてわかりやすく解説しました。

栄養のパートでは、大阪府の健康寿命が全国平均より大きく劣っている(男性71.77歳/44位、女性74.95歳/40位)こと、その対策として大阪府が打ち出している健活10(ケンカツテン)(詳しくは、<https://kenkatsu10.jp>)について順番に説明しました。

特に朝ごはんの重要性や主菜(米) $\frac{1}{4}$ 、主菜(肉) $\frac{1}{4}$ 、副菜(野菜等) $\frac{1}{2}$ のバランスについて、5大栄養素(炭水化物、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラル)のそれぞれの役割と共に解説がありました。

当日は23名の方々にご参加頂きましたが、普段の生活に直結する体の動かし方や食事の話題であったこと、参加型の会であったことから和気あいあいとした雰囲気で盛況な会となりました。



参加費・
申し込み
不要

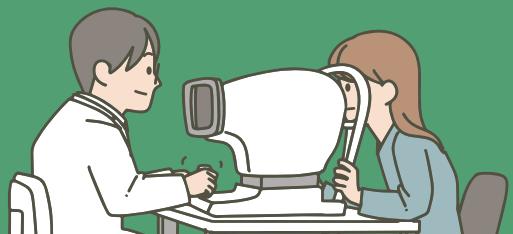
今後開催予定の公開講座

「演題調整中」

【日時】2026年2月14日(土) 14~15時

【場所】南大阪病院 外来棟 1階 多目的ホール

【講師】南大阪病院 眼科 医長 米本 由美子



事前申し込みは必要ありません、直接会場へお越し下さい。

日程および内容は急な変更もありますので、その際にはご了承ください。皆さまのご参加をお待ちしています。



デジタルサイネージ導入!

当院では、これまで院内に様々な紙のポスター掲示を掲示し、情報を見ていただく工夫を行ってきましたが、掲示物の数が増えて限られた情報しか掲示できない欠点がありました。

しかし、患者さんだけでなく来院される方に役立つ情報を、より見やすく早く提供するために、2025年11月1日より大型モニターを使ったデジタルサイネージを、まず外来棟各階に導入しました。

デジタルサイネージはショッピングモールや企業でポスターの代わりに使用されることが多いですが、最近では医療機関でもデジタルサイネージを使用することが増えています。

来院される多くのみなさまにぜひご覧いただきたいと思います。

NEWS

病院広報誌「もっとみなみおおさか」 ご意見・ご感想募集

社会医療法人 景岳会 南大阪病院 広報誌「もっとみなみおおさか」のご意見・ご感想や次号以降の掲載内容について募集しております。皆様のご意見をふまえてより良いものになればと思っております。ぜひQRコードから簡単なアンケートにご協力をお願いいたします。

アンケートは
こちらから



バックナンバーは
こちらから
ご覧いただけます。



南大阪病院の公式LINEができました！



上のQRコードから

ぜひ、お友達登録をお願いします。

南大阪病院の理念

地域からよろこばれ、信頼される病院を目指します。

基本方針

- 1.患者さんの意志と権利を尊重し、十分な説明と納得と根拠に基づく医療を提供します。
- 2.常に研鑽につとめ、安心、安全で質の高い医療を提供します。
- 3.地域の中核病院として、他の医療機関との密接な連携をはかります。
- 4.医療を通じて、社会貢献と職員の満足をはかるべく健全な財務体質を構築します。

看護部の理念

地域医療の中心的病院としての使命と役割を自覚し、
地域の皆様と社会のニーズに対応できる看護を実践します。

基本方針

- 1.患者さんの命の尊厳と人権を尊重します。
- 2.安全で質の高い看護を実践します。

目標

- 1.説明と納得に基づく患者さん中心の看護を実践します。
- 2.知識と技術を磨き、豊かな人間性を有する看護職を育成します。
- 3.経営への参画意識を高め、効率的な看護業務を遂行します。
- 4.職員満足度高まるよう職場環境の充実を図ります。

◀ ホームページは
こちらから ▶



社会医療法人景岳会
南大阪病院



受付時間 平日 午前 8:30~12:00
午後 12:00~16:00
土曜日 午前 8:30~12:00

※日曜日・祝日は休診

※曜日によって診療案内・時間が変わりますので、
詳しくは窓口および外来担当表をご確認ください。

患者さんの権利と義務

患者さんの権利を尊重し、インフォームドコンセント(充分な説明と納得)と自己決定権を大切にした患者さん本位の医療を提供していくために、当院とひとりひとりの患者さんは、以下のことを確認し合います。

- 患者さんは、人間としての尊厳を尊重されながら医療を受けることができます。
- 患者さんの医療上の個人的な秘密は守られます。
- 患者さんは治療、看護の内容及び病状経過などについて、充分な説明と必要な情報の提供を受け納得のうえ自分の意思で医療を選ぶことができます。
- 患者さんは研究途上にある医療を受ける場合、前もって充分な説明をおこなわれます。
- 患者さんはお互いの療養環境を守るために、定められた諸規則を守る義務があります。



住所〒559-0012
大阪市住之江区東加賀屋 1-18-18

TEL 06-6685-0221 **FAX** 06-6685-5208

季刊誌:「もっとみなみおおさか」第86号
2026年1月1日発行

発行所:社会医療法人 景岳会 南大阪病院

発行責任者:南大阪病院 広報委員会委員長 竹村雅至



編集
後記

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。当院広報誌をご愛読いただき感謝しております。今後とも役に立つ情報を掲載し、皆様の手にとっていただき、ご愛読いただける広報誌を目指し編集していきたいと考えております。

広報委員会委員長 竹村雅至